11/18 神戸

戸　新　聞（夕刊）　【朝夕刊月ぎめ定価 4037 円（本体価格 3738 円＋消費税 299 円）】1 部売り朝刊 130 円・夕刊 50 円　（第 3 種郵便物認

「不器用」男の美学貫く

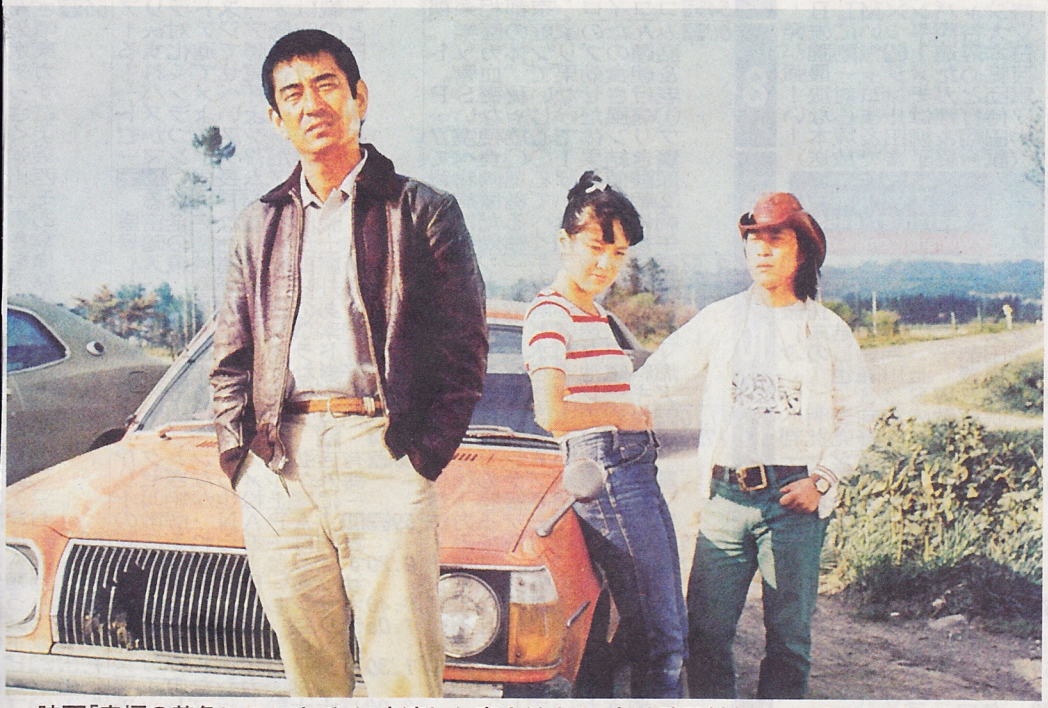
高倉健さん死去

任侠や愛、銀幕で体現

「健さん」ファンの憧れ

「器用なたちではないですから」。10日亡くなった高倉健さんの魅力は、自らを評して口ぐせにしていた言葉に集約されている。余計なことは一切しゃべらないが、いざというときは最も頼りになる人物。日本人が昔から理想の一つとしていた生き方を、スクリーン内外で貫き通した。

（1面参照）



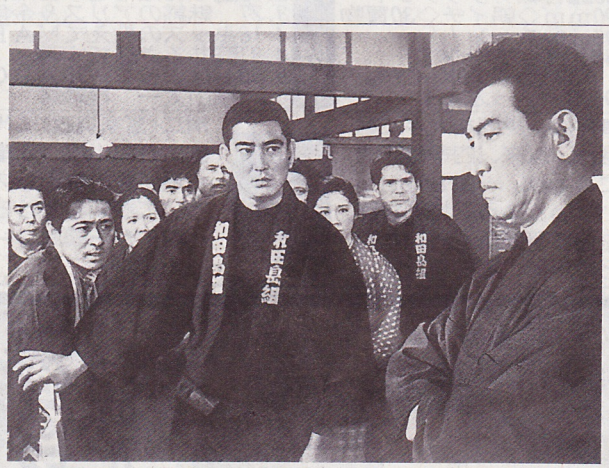
映画「幸福の黄色いハンカチ」に出演した高倉健さん。右は武田鉄矢さん、中央は桃井かおりさん（松竹提供）

高倉さんは東映でデビューしてしばらく、現代劇への出演が多かった。会社側が、日活の石原裕次郎さん、東宝の加山雄三さんのようなタイプのスターに育てようとしたからだ。美空ひばりさんの相手役に起用されるなど周囲の期待も高かったが、精彩を放ったのは学生時代に鍛えた体を生かした任侠路線だった。

日本刀を構え、唐獅子牡丹の入れ墨を背負った姿は、行為の善悪は別として、観客に憧れを抱かせ、「健さん」

高倉健さんの主な出演映画

1964年	「日本侠客伝」
65	「網走番外地」「昭和残侠伝」
75	「新幹線大爆破」
77	「八甲田山」「幸福の黄色いハンカチ」
80	「遙かなる山の呼び声」
81	「駅　STATION」
83	「南極物語」「居酒屋兆治」
89	「ブラック・レイン」
94	「四十七人の刺客」
99	「鉄道員（ぽっぽや）」
2001	「ホタル」
06	「単騎、千里を走る。」
12	「あなたへ」



映画「日本侠客伝　浪花篇」に出演した高倉健さん。右は鶴田浩二さん、左は長門裕之さん（東映提供）